

## 甲子園審判凱旋

和歌山合宿を終え、北海道に戻ってから約3週間が経過しました。大会に向けて少ない時間ですが、選手たちは「甲子園出場を果たし校歌を歌う」という目標実現のため、毎日研鑽を重ねています。

その我々が目指す甲子園、先日行われていたセンバツ高校野球大会にすでに本校の関係者が審判員として出場されています。関係者の間では知らない人はいない“大屋公人”さんです。大屋さんは2005年度の卒部生で、現在は高校野球だけでなく、大学・社会人野球など様々なカテゴリで審判員としてご活躍されています。大屋さん自身、今回のセンバツ含め大会のたびに甲子園で審判をされていますが、今回は何と山梨学院-報徳学園の決勝戦でもジャッジをされました。甲子園で初めてジャッジをされてからたった数年で決勝戦を任されることは大変異例のことで、いかに大屋さんの技術が高いかがうかがえます。

今回大屋さんは、横山監督への挨拶と現役部員への激励でグラウンドに来てくださり、最後は「甲子園で待っている」というお言葉もいただきました。我々も早く大屋さんと同じ舞台に立てるよう、一層練習に励みます。大屋さん、この度はありがとうございました。



2023/04/18